



いり え
入江たけし

つなげる
CONNECT

みんなの声でこのまちをつくる。
常総市から、もっと良い未来へ

入江たけしプロフィール

1989(H元)年3月生まれ。
石下小、石下中、茨城県立伊奈高校、
京都伝統工芸大学校(陶芸専攻)卒業。

地元に戻り、日本語指導法を習得。外国人市民を対象とした語学教室を行う。

2015年の関東東北豪雨では平内の自宅が被災。復旧作業をしながら、避難所での支援活動に取り組む。

現在、常総生協に勤務する傍ら、中央大学法学部(通信教育課程)に在学し、法律を勉強中。

剣道二段、空手初段。
家族は、配偶者、父、母、姉。



生協で配達の仕事をしています。



31歳で結婚しました。



入江たけし事務所

〒300-2714
常総市平内110-1
電話0297-42-5425

ホームページ
<https://irietakeshi.net/>



Twitter
@irietakeshinet



Facebook
入江たけし つなげる



CP 2023.03.01 号外
立憲民主
RIKKEN MINSHU

立憲民主党 立憲民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
三宅坂ビル7F
Tel.03-3595-9988
Fax.03-3595-9088

常総市議会議員選挙
予定候補者として

33歳

いり え
入江たけし
さんの

立憲民主党公認を決定しました!

入江たけしさんの主張を紹介します。

みんなの声でこのまちをつくる。
常総市から、もっと良い未来へ

2015年9月、関東東北豪雨が常総市を襲い、生まれ育ったふるさとの景色を一変させてしまいました。私の地元・平内にも泥水が押し寄せました。自宅の泥をかき出しながら、破壊されたまちの姿を目のあたりにして、いても立ってもいられず、夜は避難所でボランティア活動をしました。

そして今、私は生協で働いています。ご高齢の方々のお宅への配達も多く、買い物という生活に必要なことも「本当に大変だよ」という声をお聴きしてきました。

私は、「一人ひとりが大切にされ、幸せを感じることができる地域をつくりたい」と考えています。みんなの声でこのまちをつくり、常総市からもっと良い未来をつくるため、ひとりの市民として、全力を尽くす決意です。

入江たけし



子ども・若者

変える。安心の子育て、夢の実現を応援する地域へ

- (1) 妊娠前、妊娠、出産、産後、育児と切れ目のない支援を拡充します。
- (2) 隠れ待機児童をなくし、保育の質を向上します。
- (3) 給食費の無償化、教育費の軽減等、安心して学べる教育環境に取り組みます。
- (4) 子どもの最善の利益、意見表明権等、子どもの権利を守ります。
- (5) 多様な学びの場を拡充し、誰もが何度でもチャレンジできる社会にします。
- (6) 奨学金支援や相談機能等、若者支援を拡充します。
- (7) 部活のあり方等、教職員の長時間労働・職場環境を教職員、関係者と一緒に改善します。

福祉・医療・介護

変える。健康で笑顔あふれる地域へ

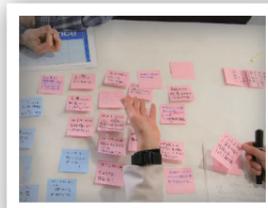
- (8) 生活困窮・障がい・介護・子育て等、分野を越えて連携し、伴走支援を進めます。
- (9) 人権が保障される福祉関連施設へと質を向上します。
- (10) 住まいの支援を拡充し、住み慣れた地域で誰もが暮せるようにします。
- (11) エッセンシャルワーカーの待遇改善と人材確保を進めます。
- (12) ケアラー支援等、家族だけでなく社会全体で支える仕組みをつくります。
- (13) 介護や生活で困っている人への支援を拡大します。
- (14) お出かけ・買い物支援を拡充します。
- (15) 障がい者の働きやすい環境づくりと工賃の引き上げを進めます。
- (16) インクルーシブ保育・教育を推進します。
- (17) フードバンク・子ども食堂等への支援を拡充します。
- (18) 安心できる年金・健康保険にしていきます。



ジェンダー平等

変える。みんなが輝く地域へ

- (19) 女性議員を増やし、あらゆる政策にジェンダー平等の視点を入れます。
- (20) パートナーシップ・ファミリーシップ制度の導入を進めます。
- (21) 性暴力被害者支援センターの設置及び支援を強化します。
- (22) あらゆるハラスメントの根絶をめざします。
- (23) 困難な問題を抱える女性の支援体制を拡充します。
- (24) ジェンダー平等の視点を入れた防災対策を進めます。
- (25) 選択的夫婦別姓制度の導入を地域からめざします。



農林水産・環境

変える。食と環境を守る地域へ

- (26) 環境負荷低減に向けた有機農業を推進します。
- (27) 戸別所得補償制度の導入等、農家の収入安定対策を強化します。
- (28) 主要作物等の種子を守るため、種子条例を制定します。
- (29) 地産地消を推進し、学校給食、観光と連携します。
- (30) 次代の農業担い手を確保します。
- (31) 消費者にやさしい「食の安全保障」を推進します。
- (32) 計画的な林業人材の育成確保を推進します。
- (33) 国産材の積極的活用と林業の社会的価値を高めます。
- (34) 東海第二原発の再稼働をさせず、自然エネルギーを推進します。
- (35) 鳥獣被害、赤潮等、農林水産被害を防ぐ取り組みを進めます。
- (36) 環境配慮型公共施設を推進します。

地域経済・労働

変える。もっと元気な地域へ

- (37) 利用しやすい公共交通とするため、公的支援を拡充します。
- (38) 地域資源を活用し、文化・芸術・観光を振興します。
- (39) 人材育成を支援し、地場産業を守ります。
- (40) 販路の開拓を支援します。
- (41) 中小企業を守るために指導監視を強化します。
- (42) ブラック企業をなくす等、働きやすい環境をつくります。
- (43) 物価に負けない賃上げをめざします。
- (44) 障がい者の賃金をアップし、雇用機会を拡充します。
- (45) 交通弱者の移動手段を守ります。
- (46) インボイス制度の廃止を求めます。

議会改革・地方自治

変える。地域のことは自ら決める地域へ

- (47) 議会基本条例制定、住民と意見交換等、議会改革を進めます。
- (48) 国と対等な地方自治を確立します。
- (49) 旧統一教会問題等、歪んだ政治を正し、被害者を救済します。
- (50) 戦争の記憶を次世代に語り継ぐため、平和行政を推進します。

データで見る地方議会 2023

条例の制定などを国内の全自治体数 1788（市区町村＋都道府県 / 総務省統計 e-Stat2022年 12月30日現在より、北方領土の6村は除く）と比較してみました。割合の%は約数です。

子どもの権利条例

4%

子どもの権利条例を制定している自治体数は 62。（2022年 10月現在 / 子どもの権利条例総合研究所調べ）

パートナーシップ制度

14%

パートナーシップ制度（条例や宣言など）を設けている自治体数は 247。（2022年 12月 22日現在 / 公益社団法人 Marriage For All Japan 調べ）

議会基本条例

54%

議会基本条例を制定している議会は 965。（2022年 12月 25日現在 / 自治体議会改革フォーラム調べ）

女性議員比率

13%

地方議会の女性議員数 4,829 人。男性議員は 32,021 人。（2021年 12月 31日現在 / 総務省「地方公共団体の議会の議員及び所属党派別人員調べ」より）